

保護者の皆様

神奈川県立横浜氷取沢高等学校
校長 坪内 幸子

令和7年度第2回「生徒による授業評価」集計結果について(ご報告)

寒中の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日ごろより、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、神奈川県では例年、授業改善の取組みに資するものとして年に2回「生徒による授業評価」を実施しておりますが、今年度の本校における第2回（後期）の実施結果がまとまりましたので、次のとおりご報告申し上げます。

1 アンケート設問

大項目	番号	小項目
授業についての在り方	1	毎時間の授業や単元（内容のまとめ）のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある。
	2	単元（内容のまとめ）の学習の中で、他者の考え方を知り、自らの考え方を広げ深める機会がある。 <u>※他者とは、他の生徒・教員等を言う。</u>
	3	単元（内容のまとめ）の学習の中で、課題について自分の考え方をまとめたり、解決方法について考える場面がある。
学習の状況	4	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。
	5	他者の考え方を知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考え方を広げ深めることができた。 <u>※他者とは、他の生徒・教員等を言う。</u>
	6	授業で得た知識をもとに、自分の考え方をまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた。
	7	授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた。
	8	授業に対して意欲的に取り組んでいる。

各項目に対して、「4かなり当てはまる」「3ほぼ当てはまる」「2あまり当てはまらない」「1ほとんど当てはまらない」の4段階で評価し、回答します。

2 調査対象者数

実施したアンケートの教科毎の対象者数は次のとおりです。

教科	国語	地歴・公民	数学	理科	保健・体育	芸術	外国語	家庭	情報	総合
人数(人)	1546	1081	1242	1055	1250	296	2185	234	229	750

3 調査結果についての分析（数値は全体平均）

全ての項目で、肯定的な回答（評価4または3）をした割合が90%を超えてます。前期の第1回アンケートよりも高い数値となっています。特に設問1と3では94%となっており、「毎時間学習のねらいを示したり、学習したことを振り返ったりする機会」があり、「学習を通して、自分で意見をまとめ課題解決につなげる」授業が行われているという高い評価を得ました。よって設問8の「意欲的に取り組む」自己評価も高くなっていると思われます。

4 今後の授業改善に向けて

前期同様、一人一台端末を効果的に活用し、生徒同士など多様な他者と協働しながら行う学びを充実させる取り組みを各教科で進めるとともに、教科横断的に「グローバル人材に求められる資質・能力の育成」を目指し、生徒がわかったと思える授業づくりに取り組んでいます。今回の授業評価の結果を受け、より一層生徒の主体性、協働性を意識した授業展開から学習内容の定着につながるように工夫を重ねてまいります。

問合せ先
副校長 坂本
電話 045(772)0606

5 集計結果